

住環境学科

アドミッション・ポリシー

【教育の理念】

今、私たちの社会は大きく変わりつつあります。少子高齢化、高度情報化、男女の共同参画、家族形態の多様化など、私たちの生活に直接関わる身近なものから、地球規模での環境の変化まで、変化の範囲は広く、そして急速です。住まいづくり・地域づくりにも常に変化に対応した新しい視点が求められています。住環境学は、このような社会の変化をふまえて、ヒューマンスケールで環境を捉え、生活者の視点にたって、豊かで質の高い住環境を実現することを目指す領域です。住環境学科では、幅広い文化的教養（国語、地理歴史・公民、外国語）と基本的な工学能力（数学、理科）を基礎に、生活や生活環境・企画・設計に関わるデザイン能力、実務を遂行する能力を養成することを学習・教育目標に設定し、社会が求める問題解決能力、実践的な創造力を身につけた人材の養成を目指しています。

【求める学生像】

住環境学科では、住まいづくり・地域づくりに興味を持ち、将来それらの分野において専門的な職業人として活動しようとする積極的な学生を求めています。住環境学科では、上記の学習・教育目標にしたがって、住まい・地域・都市の計画・デザイン、音・光・熱などの環境・設備、建物を支える構造・工法、建物をつくりだし維持する生産・施工・材料・管理の各分野を体系的に学び、社会が求める問題解決能力、実践的な創造力を身につけていきます。このように住環境学科で学ぶ分野は幅が広いとため、高等学校では基礎的な学力（国語、数学、外国語、理科、地理歴史・公民）をバランスよく身につけておく必要があります。これらの基礎的な学力の上にあたって、主体的、意欲的に学習と研究に取り組む学生の入学を期待します。